

## 株式に関するご案内

決算期  
3月31日  
定時株主総会開催  
6月  
基準日  
定時株主総会 3月31日  
その他必要があるときは、取締役会で決議し、  
あらかじめ公告する一定の日  
配当金受領株主確定日  
利益配当金 3月31日  
中間配当金 9月30日  
1単元の株式の数  
100株

公告掲載新聞  
日本経済新聞

名義書換代理人  
東京都千代田区丸の内一丁目4番3号  
東洋信託銀行株式会社  
同事務取扱場所  
〒541-8502大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
東洋信託銀行株式会社大阪支店証券代行部  
電話 06-6229-3011(代表)  
同取次所  
東洋信託銀行株式会社本支店および  
野村證券株式会社本支店

株式関係のお手続き用紙のご請求は、  
次の東洋信託銀行の電話およびインターネットでも  
24時間承っております。

- 電話 (通話料無料)  
0120-24-4479 (本店証券代行部)  
0120-68-4479 (大阪支店証券代行部)
- インターネット  
<http://www.toyotrustedbank.co.jp/>

単元未満株式の買取り請求場所  
名義書換代理事務取扱場所および同取次所  
なお、「株券等の保管振替制度」をご利用の株主様は、  
お取引証券会社等を経由してご請求ください。

上場証券取引所  
東京証券取引所市場第1部  
大阪証券取引所市場第1部  
福岡証券取引所

  
福岡市東区松田一丁目5番7号  
電話(代表) 092-623-1111  
 <http://www.mrmax.co.jp/>

Discount Store

GUEST FIRST

Smart Shopping!

ISO 14001

# BUSINESS REPORT 第53期 中間事業報告書

平成13年4月1日～平成13年9月30日

for All

株主の

皆様へ

Stockholder

DISCOUNT STORE  


# BUSINESS REPORT



## 株主の皆様へ

### ■ごあいさつ

代表取締役社長 平野 能章

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は暖かいご支援をいただきまして、心より感謝いたしております。

第53期中間事業報告書をお届けするにあたり一言ご挨拶申し上げます。

当社は、「お客様の普段の暮らしをより豊かに、より便利に、より楽しく」を経営理念として掲げ、そのための商品やサービスを、毎日低価格(エブリデー・ロープライス)で提供する総合ディスカウントストアの全国チェーン展開を目指しております。その実現によって社会に貢献し、株主の皆様をはじめとするステークホルダーのご期待にお応えすべく、積極的かつ効率的な事業推進を図ってまいります。

今後とも皆様方のご期待に応えるべく全力で業績向上に邁進する所存であります。

皆様におかれましては、なにとぞ倍旧のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成13年12月

## ■営業の概況

### 1. 当中間会計期間の業績の概要

当中間期におけるわが国経済は、前半は米国財政、金融政策による景気回復への期待、国内新政権の強力なリーダーシップへの期待感から明るさを期待させる動きもみられましたが、金融・製造業の業績悪化懸念、株価の著しい下落、米国のITバブルの余波にテロ事件が追い打ちを掛ける形となり、相次ぐ企業リストラの発表、大手流通企業の民事再生法申請など先行きの不透明感から個人消費は引き続き低迷し、デフレ傾向がさらに進む結果となりました。

このような厳しい環境のもと、当社は昨年オープンした新店6店の売上が寄与し、当中間期の業績は以下のとおりとなり、中間期としては過去最高の営業収益を確保いたしました。

営業収益	477億48百万円	(前年同期比 114.0%)
経常利益	5億22百万円	(前年同期比 104.3%)
中間純利益	2億33百万円	(前年同期比 84.1%)

### 2. 通期の見通し

当下半年も個人消費の低迷が続く中、商品そのものの価値に対するお客様の選別がますます厳しくなっていくことが予想され、商品単価についてはむしろ率先して引下げを図っていく一方、今まで以上に商品の「価格」と「品質」のバランスにこだわった商品を提供してまいります。

広い通路と天井高を活かした、お買物のしやすい売場に、自主企画ブランド「make a Good Choice !」「SELF STYLE」を展開し、「Smart Shopping」を満喫していただくとともに、商品の安全、衛生管理にも細心の注意を払い、安心してお買物をしていただけるよう努めてまいります。

平成14年3月期の決算は、

営業収益	945億84百万円	(前年同期比 102.9%)
経常利益	7億00百万円	(前年同期比 104.9%)
当期純利益	3億53百万円	(前年同期比 142.9%)

を見込んでおります。

## ■対処すべき課題

当社は、店作り、品揃え、価格設定など、当社の営業活動全般において「お客様に満足していただくこと」を使命と考え、「GUEST FIRST」を行動指針といたしております。

**GUEST FIRST**  
お客様へのおもてなし



**(1)商品開発力の強化**……お客様に価値を見いだしていただき、満足していただく、自主企画商品に最も必要な要素は「品質」と「価格」のバランスであるとのコンセプトを掲げ、メーカーの既製品や他社の開発商品では得られない「普段の暮らしを楽しくするお値打ち商品」の提供を営業の柱に据えたいとの想いから、平成17年度までに売上高の3割、荒利益高の5割を自主企画商品で構成する目標を設定いたしました。  
Mr Maxにしかない商品の独自性を創造すべく、当社自主企画商品ブランド構築に着手し、必要な機能に絞り込んだ低価格ブランド「make a Good Choice !」と普段の生活の中におしゃれ感覚と楽しさをデザインするクオリティ・ブランド「SELF STYLE」の2つのブランドを展開。飲料、洗剤など「make a Good Choice !」200品目、カジュアル衣料など「SELF STYLE」150品目を順次投入中です。  
今後品目数を拡充し、お客様のご意見を参考にしながら、自主企画商品群の充実を図ってまいります。

## 「普段の暮らしを楽しくするお値打ち商品」をコンセプトに生まれた、MrMaxのオリジナルブランド。

Make a  
GOOD  
CHOICE!

make a Good Choice  
「低価格ブランド商品」  
必要な機能に絞り込むことで  
低価格の商品を提供。

飲料、洗剤…など  
200品目投入予定

SELF STYLE

SELF STYLE  
「クオリティ・ブランド商品」  
生活の中におしゃれな感覚と  
楽しさをデザインし提供。

カジュアル衣料…など  
150品目投入予定

**(2)物流システムの構築**……平成13年4月に物流部を創設いたしました。その目的は、商品供給者に依存した現在の物流システムを、自社の物流システムに順次置き換え、商品をタイムリーに店舗に供給することで欠品を削減し、また、店舗作業を物流センターへ集中させることで、品揃えを含めたお客様へのサービスレベルを向上させ、お客様の満足度を高めていただくとともに、商品回転率の向上と店舗作業コストを削減することにあります。  
9月には福岡地区3店舗を対象とした物流センターを開設いたしました。平成14年中には全店を対象としたセンターへと物流業務を拡大すべく準備中です。  
また、子会社（株）ネットマックスで培ったノウハウを基に、インターネットサイトを通じた仕入れシステム(B2B)を平成13年度中に稼働させる計画です。

**(3)新規出店**……より多くのお客様の声を聴き、より多くのお客様に満足していただくために出店を加速させたい。そのためには1店舗あたりの投資効率を上げること、投資の軽量化と人口集積地での店舗用地確保を課題といたしております。  
当社は、お客様のお買物の便利さを考慮し、ロードサイドの単独店やビルテナント出店を避け、大駐車場を備え、来店頻度の共通するテナントが集積するショッピング・センターへの出店を基本方針といたしておりますが、他社開発によるショッピング・センターへの出店を、出店戦略の選択肢の1つと位置づけるとともに、SC(ショッピング・センター)開発部の増員強化により自社開発SC「MERX(メルクス)」の集客力、収益力強化を図ってまいります。

**(4)資本効率の向上**……事業活動のあらゆる局面で資本効率の向上を目指してまいります。  
物流部内に在庫管理課を新設し、物流センター在庫を含めた全社ベースでの適正在庫をコントロールするなど、不動産、有価証券、現預金など、あらゆる資産について効率運用を心掛け、最小の投資で最大の満足と利益をお客様と投資家の皆様にご提供できるよう努めてまいります。

**(5)環境への取り組み**……当社は、平成12年9月に本部および全ての店舗において環境管理の国際標準化規格「ISO14001」の審査登録をし、以下のような課題に取り組んでおります。

- ①出店に際して十分な緑化スペースを確保するなど、立地環境の保全。
- ②地球温暖化の原因となるCO<sub>2</sub>排出量抑制のため、店舗への氷蓄熱装置、デマンドコントローラーの設置など消費電力の平準化。
- ③ダンボール、発泡スチロール、空き缶等のリサイクルなど廃棄物排出抑制への取り組み。

■中間貸借対照表

(単位=百万円・百万円未満切捨)

資産の部	当中間期 (平成13年9月30日現在)	前期(ご参考) (平成13年3月31日現在)	増減
<b>■流動資産</b>	15,708	24,344	△ 8,636
現金及び預金	5,408	11,927	△ 6,519
売掛金	789	962	△ 173
たな卸資産	8,802	9,641	△ 839
その他	708	1,813	△ 1,105
<b>■固定資産</b>	69,024	70,089	△ 1,065
<b>有形固定資産</b>	55,606	56,325	△ 719
建物	19,727	20,161	△ 434
土地	32,863	32,891	△ 28
建設仮勘定	3	-----	3
その他	3,011	3,272	△ 261
<b>無形固定資産</b>	624	612	12
<b>投資その他の資産</b>	12,792	13,151	△ 359
投資有価証券	2,372	2,691	△ 319
差入保証金	5,302	5,309	△ 7
その他	5,117	5,150	△ 33
<b>■繰延資産</b>	8	10	△ 2
社債発行費	8	10	△ 2
<b>資産の部合計</b>	<b>84,740</b>	<b>94,444</b>	<b>△ 9,704</b>

(単位=百万円・百万円未満切捨)

負債の部	当中間期 (平成13年9月30日現在)	前期(ご参考) (平成13年3月31日現在)	増減
<b>■流動負債</b>	31,899	34,861	△ 2,962
支払手形	10,092	12,222	△ 2,130
買掛金	6,566	6,582	△ 16
1年以内償還転換社債	-----	9,999	△ 9,999
1年以内返済予定長期借入金	12,614	1,664	10,950
未払法人税等	196	220	△ 24
賞与引当金	317	284	33
その他	2,113	3,888	△ 1,775
<b>■固定負債</b>	24,428	30,974	△ 6,546
社債	3,000	3,000	0
長期借入金	13,008	19,565	△ 6,557
退職給付引当金	288	263	25
役員退職慰労引当金	727	684	43
その他	7,404	7,461	△ 57
<b>負債の部合計</b>	<b>56,328</b>	<b>65,836</b>	<b>△ 9,508</b>
<b>資本の部</b>			
<b>■資本金</b>	10,229	10,229	0
<b>■資本準備金</b>	9,944	9,944	0
<b>■利益準備金</b>	526	506	20
<b>■その他の剰余金</b>	8,061	8,045	16
<b>任意積立金</b>	7,437	7,656	△ 219
<b>中間(当期)未処分利益</b>	623	389	234
(中間(当期)純利益)	(233)	(247)	(△ 14)
<b>■其他有価証券評価差額金</b>	△ 182	△ 117	△ 65
<b>■自己株式</b>	△ 167	-----	△ 167
<b>資本の部合計</b>	<b>28,411</b>	<b>28,608</b>	<b>△ 197</b>
<b>負債及び資本の部合計</b>	<b>84,740</b>	<b>94,444</b>	<b>△ 9,704</b>

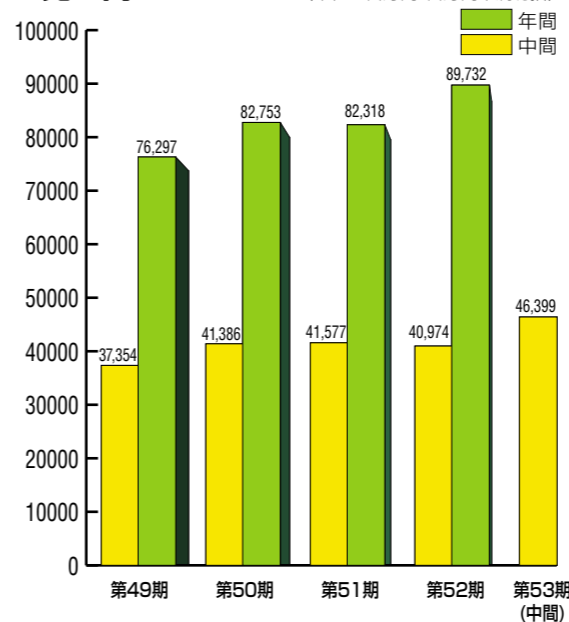
### ■中間損益計算書

(単位=百万円・百万円未満切捨)

科目		当中間期 平成13年4月1日から 平成13年9月30日まで	前中間期(ご参考) 平成12年4月1日から 平成12年9月30日まで	増減
営業 損益の 常部	売上高	46,399	40,974	5,425
	売上原価	38,448	33,929	4,519
	売上総利益	7,950	7,045	905
	不動産賃貸収入	1,349	917	432
	営業総利益	9,300	7,962	1,338
	販管費及び一般管理費	8,850	7,619	1,231
	営業利益	449	342	107
	営業外収益	375	437	△62
	受取利息	15	6	9
	その他	359	430	△71
営業 外損 益の 部	営業外費用	303	279	24
	支払利息	243	228	15
	社債利息	25	25	0
	その他	34	25	9
経常利益	522	500	22	
特別 損益の 部	特別利益	6	19	△13
	特別損失	97	11	86
税引前中間純利益		430	509	△79
法人税、住民税及び事業税		196	231	△35
中間純利益		233	278	△45
前期繰越利益		389	359	30
中間未処分利益		623	637	△14

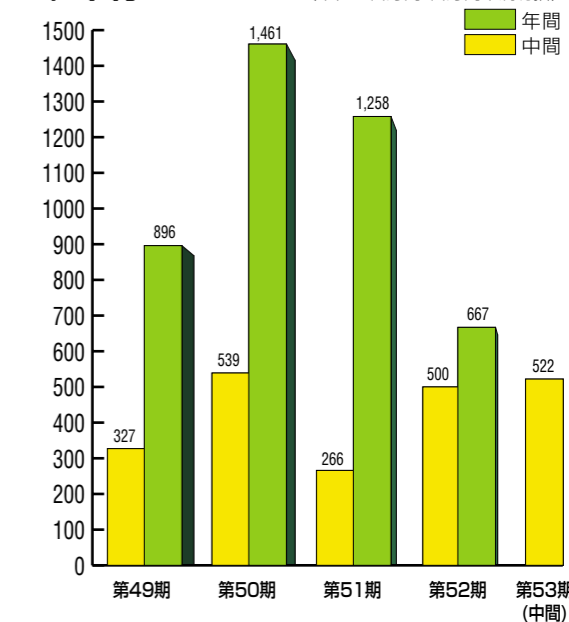
### ■売上高

(単位=百万円・百万円未満切捨)

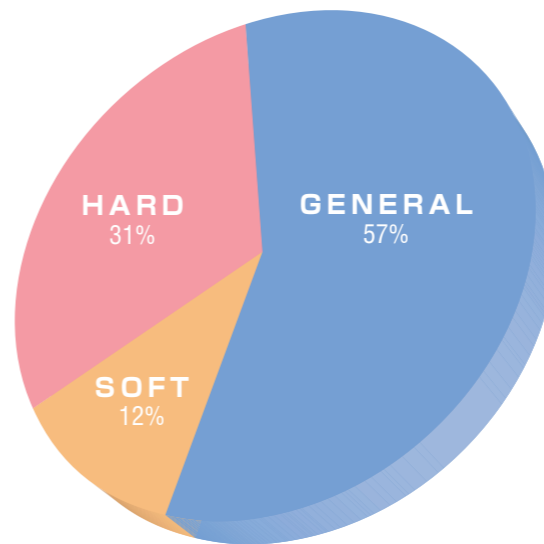


### ■経常利益

(単位=百万円・百万円未満切捨)



### ■グループ別売上高構成比



#### HARD ハードグループ

- 家庭用電器用品/VTR、CTV、ステレオ、冷蔵庫、洗濯機、冷暖房器具 etc.
- カメラ/カメラ、交換レンズ etc.

#### SOFT ソフトグループ

- 衣料・シューズ・服飾雑貨品/実用衣料、紳士衣料、婦人衣料、子供・ベビー衣料・用品、服飾雑貨、シューズ etc.
- 時計・宝飾品/時計、宝飾、アクセサリ、喫煙用具 etc.

#### GENERAL ゼネラルグループ

- 日用雑貨品/紙綿製品、洗剤、化粧品、文具、玩具、日用雑貨 etc.
- インテリア・食品・ペット用品/インテリア、収納用品、園芸用品、ペット用品、食品 etc.
- スポーツ・レジャー・カー用品/スポーツ用品、自転車、カーAV、ケミカル・カーアクセサリ etc.

■役員一覧

(平成13年9月30日現在)

会社における地位	氏名
代表取締役会長	平野比志
代表取締役社長	平野能章
専務取締役	岩木宗春
常務取締役	小島由照
取締役	樋口一夫
取締役	小田康徳
取締役	佐藤昭彦
常勤監査役	松本淳
監査役	中牟田健一
監査役	村山勇吉
監査役	岩崎明弘

■大株主一覧

(平成13年9月30日現在) 持株数 単位=千株  
持株比率 単位=%

株主名	当社への出資の状況	
	持株数	持株比率
平野比志	6,473.9	16.34
平野興産有限会社	1,980.4	4.99
株式会社福岡銀行	1,755.2	4.43
平野能章	1,726.1	4.35
平野淳子	1,342.9	3.39
東洋信託銀行株式会社	1,093.5	2.76
MrMax社員持株会	848.8	2.14
日本興亜損害保険株式会社	846.6	2.13
ロンパーオディエエコパニイ	795.0	2.00
株式会社西日本銀行	680.0	1.71

(注) 1. 株式数は百株未満を切り捨てて表示しております。  
2. 上記東洋信託銀行株式会社の所有株式数のうち、信託業務に係る株式数は67.1千株であります。

株主のみなさまへのお知らせ

商法改正について

「商法等の一部を改正する等の法律」(平成13年法律第79号)が、平成13年10月1日に施行されました。

1. 単元株制度が廃止され、単元株制度になりました。

当社は、100株を1単位としていましたが、10月1日から100株を1単元としました。  
①1単元未満(100株未満)の株式については、従来どおり買取請求することができます。  
②株主総会の議決権の数が、100株で1個となります。  
(250株ご所有の場合従来は議決権数200株と表示していましたが、今後は議決権数2個と表示します。)

2. 単元未満株式の買取手数料を無料としました。

当社は、今回の商法改正に伴い単元未満株式の買取につきまして、「株式取扱規則」の一部を次のとおり変更しました。  
①従来、株主さまにご負担いただいていた「買取手数料」を無料としました。  
②買取価格を決定する証券取引所を、従来の福岡証券取引所から東京証券取引所に変更しました。

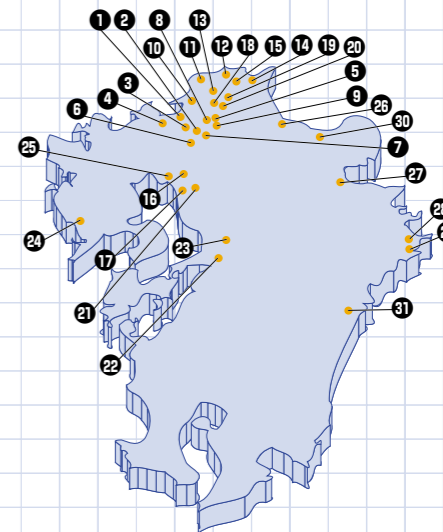
3. 額面株式の制度が廃止されました。

当社の株式は1株の額面金額を50円としていましたが、10月1日から額面株式の制度が廃止されました。  
なお、現在ご所有の株券(1株の額面金額50円と記載)は、従来どおり証券取引所において流通いたしますので、株券お引き換えの手続きは一切ご不要でございます。

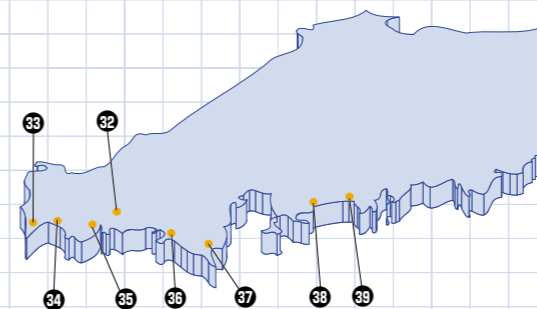
■出店展開

【九州地区】

- |              |            |
|--------------|------------|
| 1 マリノアシティ福岡店 | 17 大牟田店    |
| 2 長住店        | 18 飯塚花瀬店   |
| 3 野芥店        | 19 田川バイパス店 |
| 4 野方店        | 20 田川後藤寺店  |
| 5 土井店        | 21 山鹿店     |
| 6 白水店        | 22 松橋店     |
| 7 大野城店       | 23 熊本インター店 |
| 8 粕屋店        | 24 長崎店     |
| 9 宇美店        | 25 北茂安店    |
| 10 新宮店       | 26 中津店     |
| 11 宗像店       | 27 南大分店    |
| 12 本城店       | 28 津久見店    |
| 13 木屋瀬真名子店   | 29 佐伯店     |
| 14 小倉南店      | 30 宇佐店     |
| 15 富野店       | 31 日向店     |
| 16 久留米インター店  |            |

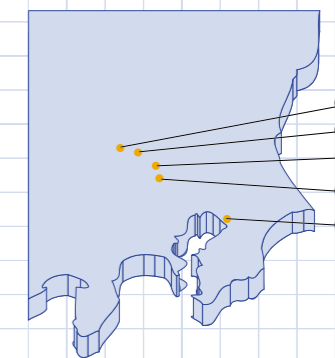


【中国地区】



- |         |         |
|---------|---------|
| 32 山口店  | 36 末武店  |
| 33 綾羅木店 | 37 柳井店  |
| 34 小野田店 | 38 八本松店 |
| 35 宇部店  | 39 神辺店  |

【関東地区】



- |          |         |
|----------|---------|
| 40 新習志野店 | 43 伊勢崎店 |
| 41 太田東店  | 44 館林店  |
| 42 倉賀野店  |         |